

議会の評価

〔 令和 2 年度決算審査 事業評価報告書 〕

瑞浪市議会では、瑞浪市議会基本条例第 7 条 2 項「議会は、決算審査に当たって、市長等執行機関が執行した事業等の評価を行うものとする」の定め
に則り、平成 26 年から毎年事業評価を実施しています。

令和 2 年度決算審査においては、下記の事業を取り上げ、全議員による個
別評価を基に、予算決算委員会の場で評価を確定しました。

	事業名
1	防災行政無線更新事業
2	病児・病後児保育事業
3	地区公民館施設調査事業
4	域学連携推進事業
5	不妊治療助成事業
6	農産物等直売所規模拡大整備事業
7	大湫宿保存活用事業
8	空き店舗賃貸借促進奨励事業
9	瑞浪駅前周辺再開発事業
10	エネルギー利用最適化事業

瑞 浪 市 議 会

目 次

議員別事業評価集計表 【総合評価】	1
-------------------	---

事業評価書・議員別評価表

1 防災行政無線更新事業	2～3
2 病児・病後児保育事業	4～5
3 地区公民館施設調査事業	6～7
4 域学連携推進事業	8～9
5 不妊治療助成事業	10～11
6 農産物等直売所規模拡大整備事業	12～13
7 大湫宿保存活用事業	14～15
8 空き店舗賃貸借促進事業	16～17
9 瑞浪駅前周辺再開発事業	18～19
10 エネルギー利用最適化事業	20～21

議員別事業評価集計表 【総合評価】

評 価 事 業	奥村一仁	山下千尋	棚町潤	柴田幸一郎	三輪田幸泰	辻正之	樋田翔太	渡邊康弘	大久保京子	小木曾光佐子	成瀬徳夫	榛葉利広	熊谷隆男	加藤輔之	舘林辰郎	柴田増三	総合評価
防災行政無線更新事業	90	90	85	85	95	90	100	90	90	90	90	80	80	80	90	85	A(88.1)
病児・病後児保育事業	50	55	40	50	70	60	60	70	60	50	70	35	55	65	70	55	C(57.2)
地区公民館施設調査事業	70	85	50	65	80	80	80	70	70	80	70	80	80	65	60	85	B(73.1)
域学連携推進事業	55	55	65	85	80	70	90	65	65	45	60	70	35	60	75	55	B(64.4)
不妊治療助成事業	75	70	60	55	70	85	85	90	90	85	85	85	70	65	65	65	B(75.0)
農産物等直売所規模拡大整備事業	65	35	65	70	70	75	45	80	85	60	75	70	60	80	65	80	B(67.5)
大湫宿保存活用事業	60	60	55	65	65	70	90	60	60	50	55	65	70	70	50	80	B(64.1)
空き店舗賃貸借促進奨励事業	35	30	30	10	55	75	35	10	25	0	35	20	15	35	40	40	D(30.6)
瑞浪駅前周辺再開発事業	65	50	55	60	55	90	90	55	65	50	75	60	55	70	50	55	B(62.5)
エネルギー利用最適化事業	70	45	70	70	70	85	80	60	60	85	85	70	70	80	50	90	B(71.3)

E 0～19

D 20～39

C 40～59

B 60～84

A 85～100

事業評価書（令和2年度事業）

評価対象事業	①防災行政無線更新事業	生活安全課
--------	-------------	-------

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(25)	12	23.8
	②	(20)	4	
	③	(15)	0	
	④	(10)	0	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

実施主体 市が行う妥当 性はあるか	①	(25)	15	24.7
	②	(20)	1	
	③	(15)	0	
	④	(10)	0	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効 率は良いか/ コスト削減の 余地はないか	①	(25)	2	20.0
	②	(20)	12	
	③	(15)	2	
	④	(10)	0	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

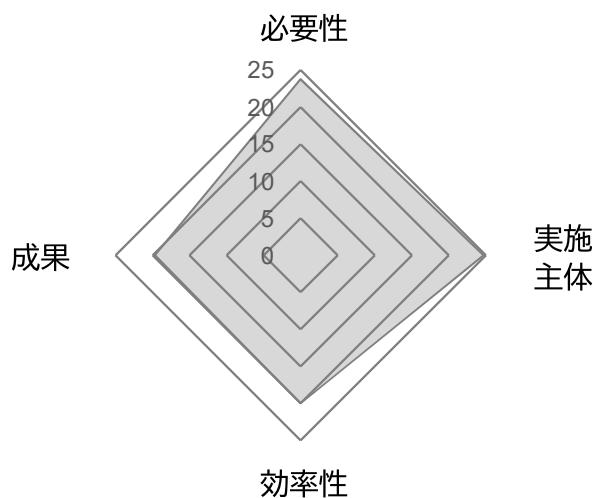
成果 目的の達成状 況	①	(25)	1	19.7
	②	(20)	13	
	③	(15)	2	
	④	(10)	0	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
A (88.1)

評価基準	評価数
A きわめて良好である(85点以上)	13
B 良好である(60点以上85点未満)	3
C おおむね適正である(40点以上60点未満)	0
D 問題がある(20点以上40点未満)	0
E かなり問題がある(20点未満)	0

項目別評価レーダーチャート



評価結果

- ・無線整備規則の改正に伴い、アナログ方式からデジタル方式への移行が義務付けられたことによる更新事業であるが、子局数の削減やワンオペレーションで防災ラジオや絆メールなどの複数媒体による情報伝達が可能になるなど、必要性、効率性、成果の面で高い評価となった。
- ・実施主体の面では、市が実施する妥当性が極めて高い。
- ・防災行政無線や防災ラジオの運用については、市民から「聞こえない。」「昼間とはいえ、寝ている市民もいる。余計な放送が多い。」などの苦情を聞くことがあるため、音達範囲や放送する内容の再精査をされたい。

議員別事業評価表(令和2年度事業)

評価事業		① 防災行政無線更新事業			
議員名	必要性	実施主体	効率性	成果	総合評価
奥村 一 仁	25	25	20	20	A(90)
山下 千 尋	25	25	20	20	A(90)
棚 町 潤	20	25	20	20	A(85)
柴 田 幸 一 郎	25	25	20	15	A(85)
三 輪 田 幸 泰	25	25	25	20	A(95)
辻 正 之	25	25	20	20	A(90)
樋 田 翔 太	25	25	25	25	A(100)
渡 邊 康 弘	25	25	20	20	A(90)
大 久 保 京 子	25	25	20	20	A(90)
小 木 曾 光 佐 子	25	25	20	20	A(90)
成 瀬 徳 夫	25	25	20	20	A(90)
榛 葉 利 広	20	25	15	20	B(80)
熊 谷 隆 男	25	25	15	15	B(80)
加 藤 輔 之	20	20	20	20	B(80)
舘 林 辰 郎	25	25	20	20	A(90)
柴 田 増 三	20	25	20	20	A(85)
平均値	23.75	24.69	20.00	19.69	A(88.1)

85点以上・・・A

60点以上・・・B

40点以上・・・C

20点以上・・・D

20点未満・・・E

事業評価書（令和2年度事業）

評価対象事業	②病児・病後児保育事業	子育て支援課
--------	-------------	--------

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(25)	1	18.1
	②	(20)	9	
	③	(15)	5	
	④	(10)	1	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

実施主体 市が行う妥当 性はあるか	①	(25)	1	16.6
	②	(20)	5	
	③	(15)	8	
	④	(10)	2	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効 率は良いか/ コスト削減の 余地はないか	①	(25)	0	12.2
	②	(20)	2	
	③	(15)	6	
	④	(10)	5	
	⑤	(5)	3	
	⑥	(0)	0	

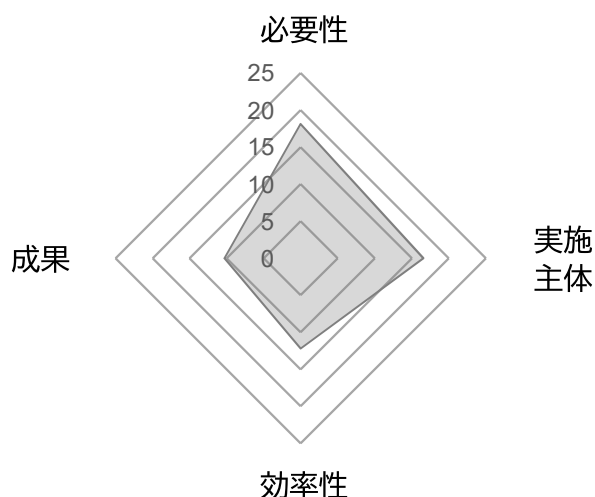
成果 目的の達成状 況	①	(25)	0	10.3
	②	(20)	1	
	③	(15)	3	
	④	(10)	9	
	⑤	(5)	2	
	⑥	(0)	1	

総合評価

総合評価
C (57.2)

評価基準	評価数
A きわめて良好である(85点以上)	0
B 良好である(60点以上85点未満)	8
C おおむね適正である(40点以上60点未満)	7
D 問題がある(20点以上40点未満)	1
E かなり問題がある(20点未満)	0

項目別評価レーダーチャート



評価結果

- ・保育の対象に病児を加えたこと、土岐市の負担金の見直しを行ったことは高く評価できる。
- ・共働きの世帯が増え、本事業に対する登録者数も増えていることから、必要性は一定程度高い評価となった。
- ・コロナ禍という事情があったとはいえ、利用者が令和2年度は「0」、令和元年度も「1名」であったことから、効率性や成果は低い評価となった。
- ・制度そのものについて、登録者へのアンケートを行い、利用につながない理由を調査するなど、本市の子育て支援の更なる向上のために検討されたい。

議員別事業評価表(令和2年度事業)

評価事業		② 病児・病後児保育事業			
議 員 名	必要性	実施主体	効率性	成果	総合評価
奥 村 一 仁	20	20	5	5	C(50)
山 下 千 尋	20	15	10	10	C(55)
棚 町 潤	10	10	10	10	C(40)
柴 田 幸 一 郎	15	20	5	10	C(50)
三 輪 田 幸 泰	20	15	15	20	B(70)
辻 正 之	20	15	15	10	B(60)
樋 田 翔 太	20	20	10	10	B(60)
渡 邊 康 弘	20	20	15	15	B(70)
大 久 保 京 子	15	15	15	15	B(60)
小 木 曾 光 佐 子	15	15	10	10	C(50)
成 瀬 徳 夫	20	15	20	15	B(70)
榛 葉 利 広	15	10	5	5	D(35)
熊 谷 隆 男	20	15	10	10	C(55)
加 藤 輔 之	20	20	15	10	B(65)
舘 林 辰 郎	25	25	20	0	B(70)
柴 田 増 三	15	15	15	10	C(55)
平均値	18.13	16.56	12.19	10.31	C(57.2)

85点以上・・・A

60点以上・・・B

40点以上・・・C

20点以上・・・D

20点未満・・・E

事業評価書（令和2年度事業）

評価対象事業	③地区公民館施設調査事業	社会教育課
--------	--------------	-------

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(25)	1	18.4
	②	(20)	10	
	③	(15)	4	
	④	(10)	1	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効率は良いか/ コスト削減の余地はないか	①	(25)	0	15.6
	②	(20)	4	
	③	(15)	10	
	④	(10)	2	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

実施主体 市が行う妥当性はあるか	①	(25)	7	21.3
	②	(20)	6	
	③	(15)	3	
	④	(10)	0	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

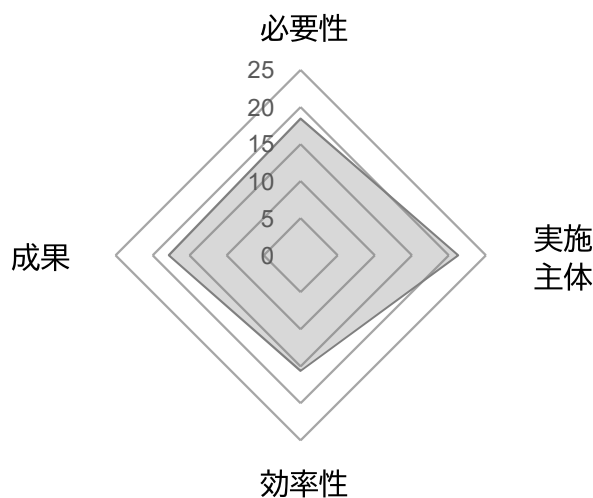
成果 目的の達成状況	①	(25)	0	17.8
	②	(20)	9	
	③	(15)	7	
	④	(10)	0	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
B (73.1)

評価基準	評価数
A きわめて良好である(85点以上)	2
B 良好である(60点以上85点未満)	13
C おおむね適正である(40点以上60点未満)	1
D 問題がある(20点以上40点未満)	0
E かなり問題がある(20点未満)	0

項目別評価レーダーチャート



評価結果

- ・本事業により、地区公民館それぞれの劣化状況や改修必要時期を明らかにすることで、より一層精緻な公共施設再編成プラン及び個別施設計画の策定につながることから、各評価項目とも概ね高い評価となった。
- ・今後の展開について、市民が利用する施設であり、市民との情報共有が欠かせないことから、施設の修繕、統合、再編については、早い段階で市民に情報提供されるよう努められたい。

議員別事業評価表(令和2年度事業)

評価事業		③ 地区公民館施設調査事業			
議 員 名	必要性	実施主体	効率性	成果	総合評価
奥 村 一 仁	15	25	10	20	B(70)
山 下 千 尋	20	25	20	20	A(85)
棚 町 潤	10	15	10	15	C(50)
柴 田 幸 一 郎	15	20	15	15	B(65)
三 輪 田 幸 泰	20	20	20	20	B(80)
辻 正 之	20	25	15	20	B(80)
樋 田 翔 太	20	20	20	20	B(80)
渡 邊 康 弘	20	20	15	15	B(70)
大 久 保 京 子	20	20	15	15	B(70)
小 木 曾 光 佐 子	20	25	15	20	B(80)
成 瀬 徳 夫	20	15	15	20	B(70)
榛 葉 利 広	20	25	15	20	B(80)
熊 谷 隆 男	25	25	15	15	B(80)
加 藤 輔 之	15	20	15	15	B(65)
舘 林 辰 郎	15	15	15	15	B(60)
柴 田 増 三	20	25	20	20	A(85)
平均値	18.44	21.25	15.63	17.81	B(73.1)

85点以上・・・A

60点以上・・・B

40点以上・・・C

20点以上・・・D

20点未満・・・E

事業評価書（令和2年度事業）

評価対象事業	④域学連携推進事業	市民協働課
--------	-----------	-------

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(25)	2	18.1
	②	(20)	7	
	③	(15)	6	
	④	(10)	1	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効率は良いか/ コスト削減の余地はないか	①	(25)	1	14.7
	②	(20)	2	
	③	(15)	9	
	④	(10)	3	
	⑤	(5)	1	
	⑥	(0)	0	

実施主体 市が行う妥当性はあるか	①	(25)	2	17.5
	②	(20)	5	
	③	(15)	8	
	④	(10)	1	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

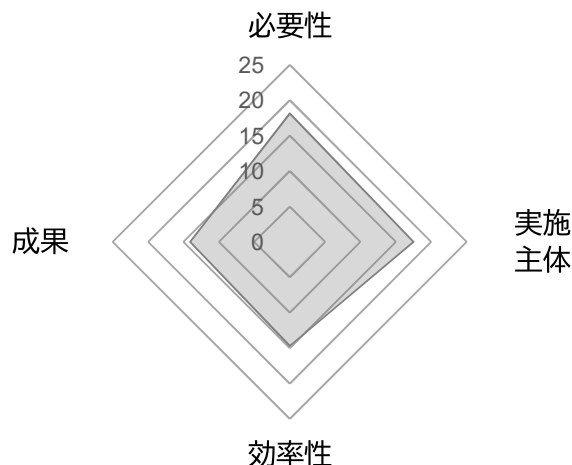
成果 目的の達成状況	①	(25)	0	14.1
	②	(20)	3	
	③	(15)	9	
	④	(10)	2	
	⑤	(5)	2	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
B (64.4)

評価基準	評価数
A 非常に良好である(85点以上)	2
B 良好である(60点以上85点未満)	9
C おおむね適正である(40点以上60点未満)	4
D 問題がある(20点以上40点未満)	1
E かなり問題がある(20点未満)	0

項目別評価レーダーチャート



評価結果

- ・「市が抱える地域課題の解消」や「若者の参加による地域の活性化」を目的とする事業であることから、必要性、実施主体は高い評価となった。
- ・相手が学生であるため一過性の取り組みとなることはある程度やむを得ないが、学校（指導者）等の取り組みに対する熱量に差があることから、専門のコーディネーターに市が直接委託をするなど、事業手法を再考されたい。
- ・市外出身の学生に、いきなり「地域の課題解消」や「地域の活性化」は、荷が重すぎる。参加する学生が市外出身であれば、取り組みの初段階として、瑞浪市（地域の風土、歴史、文化）を知ってもらうための、地域住民との交流を対象とした事業を取り入れるなど、若者が参加しやすい事業を加えたらどうかとの意見があった。

評価事業	④ 域学連携推進事業
------	------------

議 員 名	必要性	実施主体	効率性	成果	総合評価
奥 村 一 仁	20	15	10	10	C(55)
山 下 千 尋	15	10	15	15	C(55)
棚 町 潤	15	15	20	15	B(65)
柴 田 幸 一 郎	25	25	15	20	A(85)
三 輪 田 幸 泰	20	20	20	20	B(80)
辻 正 之	20	20	15	15	B(70)
樋 田 翔 太	25	25	25	15	A(90)
渡 邊 康 弘	20	15	15	15	B(65)
大 久 保 京 子	20	15	15	15	B(65)
小 木 曾 光 佐 子	15	15	10	5	C(45)
成 瀬 徳 夫	15	15	15	15	B(60)
榛 葉 利 広	20	20	15	15	B(70)
熊 谷 隆 男	10	15	5	5	D(35)
加 藤 輔 之	15	20	10	15	B(60)
舘 林 辰 郎	20	20	15	20	B(75)
柴 田 増 三	15	15	15	10	C(55)
平 均 値	18.13	17.50	14.69	14.06	B(64.4)

85点以上・・・A

60点以上・・・B

40点以上・・・C

20点以上・・・D

20点未満・・・E

事業評価書（令和2年度事業）

評価対象事業	⑤不妊治療助成事業	健康づくり課
--------	-----------	--------

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(25)	9	22.5
	②	(20)	6	
	③	(15)	1	
	④	(10)	0	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

実施主体 市が行う妥当 性はあるか	①	(25)	5	20.0
	②	(20)	6	
	③	(15)	5	
	④	(10)	0	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効 率は良いか/ コスト削減の 余地はないか	①	(25)	0	15.9
	②	(20)	6	
	③	(15)	7	
	④	(10)	3	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

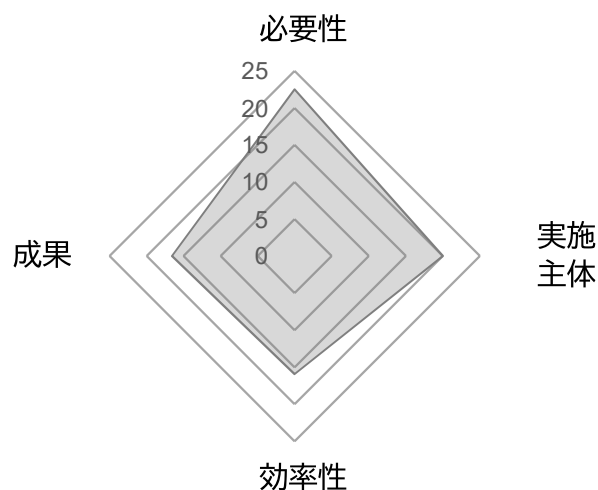
成果 目的の達成状 況	①	(25)	0	16.6
	②	(20)	7	
	③	(15)	7	
	④	(10)	2	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
B (75)

評価基準	評価数
A きわめて良好である(85点以上)	7
B 良好である(60点以上85点未満)	8
C おおむね適正である(40点以上60点未満)	1
D 問題がある(20点以上40点未満)	0
E かなり問題がある(20点未満)	0

項目別評価レーダーチャート



評価結果

- ・市としての少子化対策の観点から、不妊治療の経済的負担の軽減を図ることは大変重要であり、必要性及び実施主体は高い評価となった。
- ・目標指標については、過去の実績等を勘案し、他の指標を用いることも視野に入れ再検討されたい。

議員別事業評価表(令和2年度事業)

評価事業		⑤ 不妊治療助成事業			
議 員 名	必要性	実施主体	効率性	成果	総合評価
奥 村 一 仁	25	25	15	10	B(75)
山 下 千 尋	20	20	15	15	B(70)
棚 町 潤	20	15	10	15	B(60)
柴 田 幸 一 郎	15	15	15	10	C(55)
三 輪 田 幸 泰	20	15	15	20	B(70)
辻 正 之	25	20	20	20	A(85)
樋 田 翔 太	25	25	20	15	A(85)
渡 邊 康 弘	25	25	20	20	A(90)
大 久 保 京 子	25	25	20	20	A(90)
小 木 曾 光 佐 子	25	25	15	20	A(85)
成 瀬 徳 夫	25	20	20	20	A(85)
榛 葉 利 広	25	20	20	20	A(85)
熊 谷 隆 男	20	20	15	15	B(70)
加 藤 輔 之	20	20	10	15	B(65)
舘 林 辰 郎	20	15	15	15	B(65)
柴 田 増 三	25	15	10	15	B(65)
平均値	22.50	20.00	15.94	16.56	B(75)

85点以上・・・A

60点以上・・・B

40点以上・・・C

20点以上・・・D

20点未満・・・E

事業評価書（令和2年度事業）

評価対象事業	⑥農産物等直売所規模拡大整備事業	農林課
--------	------------------	-----

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(25)	1	18.1
	②	(20)	9	
	③	(15)	5	
	④	(10)	1	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効率は良いか/ コスト削減の余地はないか	①	(25)	0	16.6
	②	(20)	8	
	③	(15)	5	
	④	(10)	3	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

実施主体 市が行う妥当性はあるか	①	(25)	0	15.3
	②	(20)	5	
	③	(15)	9	
	④	(10)	0	
	⑤	(5)	2	
	⑥	(0)	0	

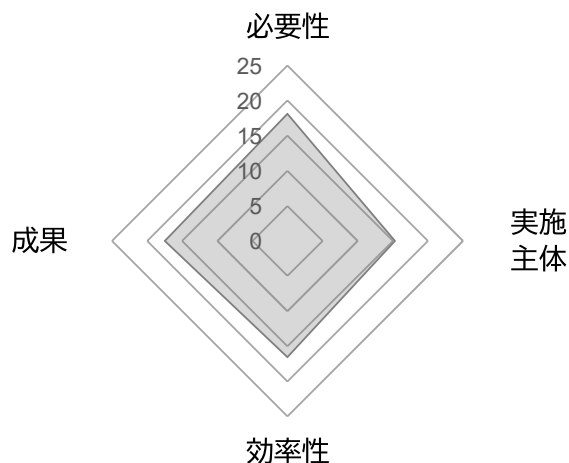
成果 目的の達成状況	①	(25)	0	17.5
	②	(20)	9	
	③	(15)	6	
	④	(10)	1	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
B (67.5)

	評価基準	評価数
A	きわめて良好である(85点以上)	1
B	良好である(60点以上85点未満)	13
C	おおむね適正である(40点以上60点未満)	1
D	問題がある(20点以上40点未満)	1
E	かなり問題がある(20点未満)	0

項目別評価レーダーチャート



評価結果

- ・本事業の大部分が、新たな衛生管理基準（H A C C P）に対応するためのポーノポーク加工品製造施設改修であることから、必要性及び成果については概ね高い評価となった。
- ・事業目的の「直売所経営の安定化」は、指定管理者が担うべき役割である。直売所に係る施設整備は市が担うべきではあるが、本来、指定管理者が担うべき経営安定化のために、市がどこまで施設の拡充を行うのか不明瞭であるとのことから、実施主体については低い評価が見受けられた。
- ・公共施設等総合管理計画との整合性や釜戸町に予定している「道の駅」とのすみ分けなど、この直売所の将来像が見えない等の意見があった。

議員別事業評価表(令和2年度事業)

評価事業		⑥ 農産物等直売所規模拡大整備事業			
議 員 名	必要性	実施主体	効率性	成果	総合評価
奥 村 一 仁	20	15	10	20	B(65)
山 下 千 尋	10	5	10	10	D(35)
棚 町 潤	20	15	15	15	B(65)
柴 田 幸 一 郎	20	15	15	20	B(70)
三 輪 田 幸 泰	20	15	15	20	B(70)
辻 正 之	20	15	20	20	B(75)
樋 田 翔 太	15	5	10	15	C(45)
渡 邊 康 弘	20	20	20	20	B(80)
大 久 保 京 子	25	20	20	20	A(85)
小 木 曾 光 佐 子	15	15	15	15	B(60)
成 瀬 徳 夫	20	15	20	20	B(75)
榛 葉 利 広	15	20	20	15	B(70)
熊 谷 隆 男	15	15	15	15	B(60)
加 藤 輔 之	20	20	20	20	B(80)
舘 林 辰 郎	15	15	20	15	B(65)
柴 田 増 三	20	20	20	20	B(80)
平均値	18.13	15.31	16.56	17.50	B(67.5)

85点以上・・・A

60点以上・・・B

40点以上・・・C

20点以上・・・D

20点未満・・・E

事業評価書（令和2年度事業）

評価対象事業	⑦大湫宿保存活用事業	商工課
--------	------------	-----

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(25)	1	17.2
	②	(20)	6	
	③	(15)	8	
	④	(10)	1	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効率は良いか/ コスト削減の余地はないか	①	(25)	0	15.0
	②	(20)	3	
	③	(15)	10	
	④	(10)	3	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

実施主体 市が行う妥当性はあるか	①	(25)	1	16.9
	②	(20)	4	
	③	(15)	11	
	④	(10)	0	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

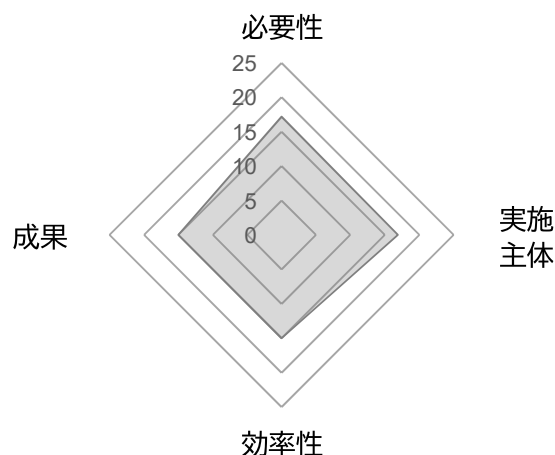
成果 目的の達成状況	①	(25)	0	15.0
	②	(20)	4	
	③	(15)	9	
	④	(10)	2	
	⑤	(5)	1	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
B (64.1)

	評価基準	評価数
A	きわめて良好である(85点以上)	1
B	良好である(60点以上85点未満)	11
C	おおむね適正である(40点以上60点未満)	4
D	問題がある(20点以上40点未満)	0
E	かなり問題がある(20点未満)	0

項目別評価レーダーチャート



評価結果

- ・大湫宿の重要な歴史的建造物を保存し、観光誘客を図るという目的から、必要性については概ね高い評価となった。
- ・実施主体についても、市が行う妥当性があるという評価になっている。しかし、歴史的建造物の保存活用について、大湫町にのみ予算が割り当てられていることに対して、市としての本事業の目的の達成（＝事業終了）はどのような状態なのかを明確にするべきという意見があった。
- ・効率性、成果については、「どちらかといえば効率的。」「どちらかといえば成果があった。」との評価になった。しかし、目標数値の1万人は、大湫コミュニティセンターの利用者を参考にしたとの説明であった。大湫町への観光客数の把握は困難かもしれないが、コミュニティセンターの利用者数を目標にすることには違和感があるため、成果の判断が難しいとの意見があった。

議員別事業評価表(令和2年度事業)

評価事業		⑦ 大湫宿保存活用事業			
議 員 名	必要性	実施主体	効率性	成果	総合評価
奥 村 一 仁	20	20	10	10	B(60)
山 下 千 尋	15	15	15	15	B(60)
棚 町 潤	10	15	15	15	C(55)
柴 田 幸 一 郎	20	15	15	15	B(65)
三 輪 田 幸 泰	15	15	15	20	B(65)
辻 正 之	20	15	20	15	B(70)
樋 田 翔 太	25	25	20	20	A(90)
渡 邊 康 弘	15	15	15	15	B(60)
大 久 保 京 子	15	15	15	15	B(60)
小 木 曾 光 佐 子	15	15	10	10	C(50)
成 瀬 徳 夫	15	15	10	15	C(55)
榛 葉 利 広	15	15	15	20	B(65)
熊 谷 隆 男	20	20	15	15	B(70)
加 藤 輔 之	20	20	15	15	B(70)
舘 林 辰 郎	15	15	15	5	C(50)
柴 田 増 三	20	20	20	20	B(80)
平均値	17.19	16.88	15.00	15.00	B(64.1)

85点以上・・・A

60点以上・・・B

40点以上・・・C

20点以上・・・D

20点未満・・・E

事業評価書（令和2年度事業）

評価対象事業	⑧空き店舗賃貸借促進奨励事業	商工課
--------	----------------	-----

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(25)	0	10.3
	②	(20)	2	
	③	(15)	4	
	④	(10)	4	
	⑤	(5)	5	
	⑥	(0)	1	

実施主体 市が行う妥当 性はあるか	①	(25)	0	9.1
	②	(20)	1	
	③	(15)	2	
	④	(10)	7	
	⑤	(5)	5	
	⑥	(0)	1	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効 率は良いか/ コスト削減の 余地はないか	①	(25)	0	7.8
	②	(20)	1	
	③	(15)	1	
	④	(10)	7	
	⑤	(5)	4	
	⑥	(0)	3	

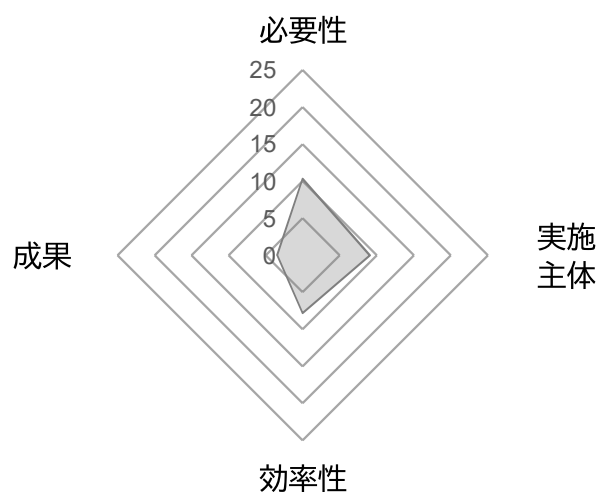
成果 目的の達成状 況	①	(25)	0	3.4
	②	(20)	0	
	③	(15)	1	
	④	(10)	2	
	⑤	(5)	4	
	⑥	(0)	9	

総合評価

総合評価
D (30.6)

評価基準	評価数
A きわめて良好である(85点以上)	0
B 良好である(60点以上85点未満)	1
C おおむね適正である(40点以上60点未満)	3
D 問題がある(20点以上40点未満)	8
E かなり問題がある(20点未満)	4

項目別評価レーダーチャート



評価結果

- ・駅前商店街へのアンケートで空き店舗対策を望む声があったことから、必要性についてはある程度認められる。
- ・市が行う妥当性が低く、事業手法の問題から実績も0件であり、実施主体、効率性及び成果については低い評価となった。
- ・特定の地域のみには優遇措置を限定していることを問題視する意見があった。
- ・賃貸借期間について、最初から5年間としていることについては、申請者（貸主）に課す条件としてふさわしくないという意見があった。

議員別事業評価表(令和2年度事業)

評価事業		⑧ 空き店舗賃貸借促進奨励事業			
議 員 名	必要性	実施主体	効率性	成果	総合評価
奥 村 一 仁	15	10	5	5	D(35)
山 下 千 尋	15	10	5	0	D(30)
棚 町 潤	10	10	10	0	D(30)
柴 田 幸 一 郎	5	5	0	0	E(10)
三 輪 田 幸 泰	15	15	15	10	C(55)
辻 正 之	20	20	20	15	B(75)
樋 田 翔 太	10	10	10	5	D(35)
渡 邊 康 弘	5	5	0	0	E(10)
大 久 保 京 子	15	5	5	0	D(25)
小 木 曾 光 佐 子	0	0	0	0	E(0)
成 瀬 徳 夫	10	10	10	5	D(35)
榛 葉 利 広	5	5	10	0	D(20)
熊 谷 隆 男	5	5	5	0	E(15)
加 藤 輔 之	5	15	10	5	D(35)
舘 林 辰 郎	20	10	10	0	C(40)
柴 田 増 三	10	10	10	10	C(40)
平均値	10.31	9.06	7.81	3.44	D(30.6)

85点以上・・・A

60点以上・・・B

40点以上・・・C

20点以上・・・D

20点未満・・・E

事業評価書（令和2年度事業）

評価対象事業	⑨瑞浪駅前周辺再開発事業	都市計画課
--------	--------------	-------

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(25)	3	19.1
	②	(20)	8	
	③	(15)	4	
	④	(10)	1	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

実施主体 市が行う妥当 性はあるか	①	(25)	3	17.5
	②	(20)	4	
	③	(15)	7	
	④	(10)	2	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効 率は良いか/ コスト削減の 余地はないか	①	(25)	0	12.8
	②	(20)	4	
	③	(15)	3	
	④	(10)	7	
	⑤	(5)	2	
	⑥	(0)	0	

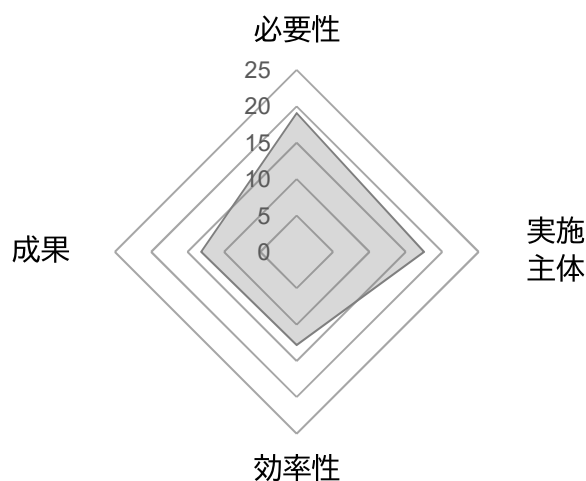
成果 目的の達成状 況	①	(25)	0	13.1
	②	(20)	2	
	③	(15)	8	
	④	(10)	4	
	⑤	(5)	2	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
B (62.5)

評価基準	評価数
A きわめて良好である(85点以上)	2
B 良好である(60点以上85点未満)	6
C おおむね適正である(40点以上60点未満)	8
D 問題がある(20点以上40点未満)	0
E かなり問題がある(20点未満)	0

項目別評価レーダーチャート



評価結果

- ・本市の玄関口となる瑞浪駅前周辺の再開発事業は、本市が魅力あるまちづくりを行っていく上で必要な事業であり、必要性、実施主体については、概ね高い評価となった。
- ・予定していた事業が遅れている原因には、コロナの影響があったことから、効率性、成果については、中程度の評価となった。
- ・まちの活性化や賑わいの創出のため、どのような社会実験が必要で、その成果がどうであったかの目標指標や実績がないため評価しづらいとの意見があった。瑞浪駅前周辺再開発事業を「南エリア」と「北エリア」に分け、それぞれ目標指標を設け推進してはどうかとの意見があった。

議員別事業評価表(令和2年度事業)

評価事業		⑨ 瑞浪駅前周辺再開発事業			
議 員 名	必要性	実施主体	効率性	成果	総合評価
奥 村 一 仁	20	20	15	10	B(65)
山 下 千 尋	10	15	10	15	C(50)
棚 町 潤	15	15	10	15	C(55)
柴 田 幸 一 郎	25	25	5	5	B(60)
三 輪 田 幸 泰	15	10	15	15	C(55)
辻 正 之	25	25	20	20	A(90)
樋 田 翔 太	25	25	20	20	A(90)
渡 邊 康 弘	15	15	10	15	C(55)
大 久 保 京 子	20	15	15	15	B(65)
小 木 曾 光 佐 子	20	10	10	10	C(50)
成 瀬 徳 夫	20	20	20	15	B(75)
榛 葉 利 広	20	20	10	10	B(60)
熊 谷 隆 男	15	15	10	15	C(55)
加 藤 輔 之	20	15	20	15	B(70)
舘 林 辰 郎	20	20	5	5	C(50)
柴 田 増 三	20	15	10	10	C(55)
平均値	19.06	17.5	12.81	13.13	B(62.5)

85点以上・・・A

60点以上・・・B

40点以上・・・C

20点以上・・・D

20点未満・・・E

事業評価書（令和2年度事業）

評価対象事業	⑩エネルギー利用最適化事業	環境課
--------	---------------	-----

項目別評価結果

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
必要性 市民ニーズ/ 目指す都市像	①	(25)	5	20.0
	②	(20)	6	
	③	(15)	5	
	④	(10)	0	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

実施主体 市が行う妥当 性はあるか	①	(25)	1	18.4
	②	(20)	10	
	③	(15)	4	
	④	(10)	1	
	⑤	(5)	0	
	⑥	(0)	0	

評価項目	評価基準	配点	評価数	平均評価点
効率性 事業手法の効 率は良いか/ コスト削減の 余地はないか	①	(25)	0	15.9
	②	(20)	6	
	③	(15)	8	
	④	(10)	1	
	⑤	(5)	1	
	⑥	(0)	0	

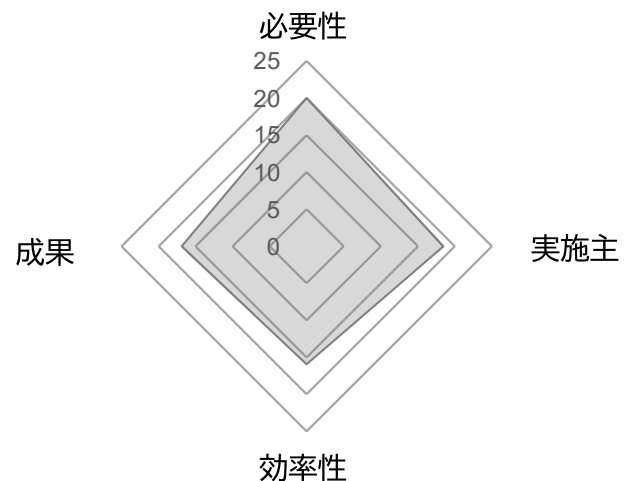
成果 目的の達成状 況	①	(25)	1	16.9
	②	(20)	7	
	③	(15)	6	
	④	(10)	1	
	⑤	(5)	1	
	⑥	(0)	0	

総合評価

総合評価
B (71.3)

評価基準	評価数
A きわめて良好である(85点以上)	4
B 良好である(60点以上85点未満)	10
C おおむね適正である(40点以上60点未満)	2
D 問題がある(20点以上40点未満)	0
E かなり問題がある(20点未満)	0

項目別評価レーダーチャート



評価結果

- ・脱炭素社会に向けて必要な事業。災害時にも役立つことから、必要性は高い評価となった。
- ・実施主体については、現状国の補助があり、エネルギーの地産地消などを考慮に入れないのであれば、必ずしも市が実施主体となる（上乗せをする）必要がないのではないかと意見もあった。
- ・効率性については、国補助の件数を把握していないことや、市としての条件を付すなどの施策が講じられておらず、非効率であるとの評価をする議員もいた。

議員別事業評価表(令和2年度事業)

評価事業		⑩ エネルギー利用最適化事業			
議 員 名	必要性	実施主体	効率性	成果	総合評価
奥 村 一 仁	20	20	15	15	B(70)
山 下 千 尋	15	10	10	10	C(45)
棚 町 潤	15	20	15	20	B(70)
柴 田 幸 一 郎	20	15	15	20	B(70)
三 輪 田 幸 泰	15	20	15	20	B(70)
辻 正 之	25	20	20	20	A(85)
樋 田 翔 太	20	20	20	20	B(80)
渡 邊 康 弘	15	15	15	15	B(60)
大 久 保 京 子	15	15	15	15	B(60)
小 木 曾 光 佐 子	25	25	20	15	A(85)
成 瀬 徳 夫	25	20	20	20	A(85)
榛 葉 利 広	20	20	15	15	B(70)
熊 谷 隆 男	20	20	15	15	B(70)
加 藤 輔 之	20	20	20	20	B(80)
舘 林 辰 郎	25	15	5	5	C(50)
柴 田 増 三	25	20	20	25	A(90)
平均値	20	18.44	15.94	16.88	B(71.3)

85点以上・・・A

60点以上・・・B

40点以上・・・C

20点以上・・・D

20点未満・・・E